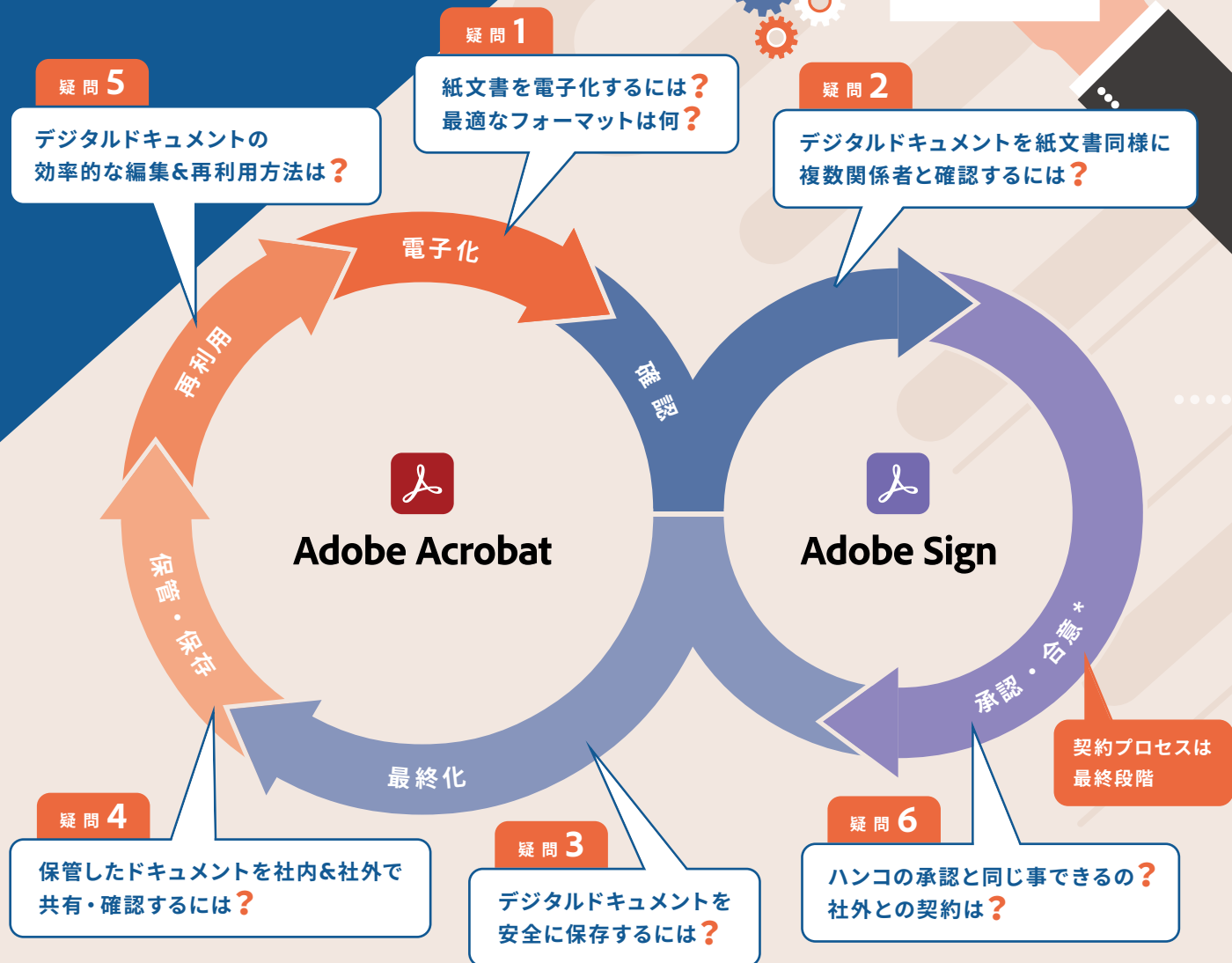


はじめての 紙文書業務デジタル化 6つの疑問



* Acrobat DC・Adobe Signともに承認、合意のプロセスをカバーしていますが、実現可能な機能が異なります。

Acrobat DC + Adobe Signで、契約業務全体をデジタル化し

年**65**時間の業務を効率化、ROI **277%**が実現可能*

Adobe Signでカバーするのは**契約プロセスの最終段階**となります。実際は契約書の作成プロセスやレビュー、承認等の複数のプロセスが存在するため、Acrobat DCにより業務全体をデジタル化し、シームレスに連携することで、メリットを最大化。

PDFの産みの親、アドビのAcrobat DCを活用することで、文書のセキュリティ、長期保存、データの再利用を可能とし、高いROIを実現。



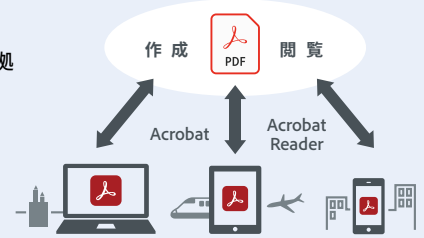
紙文書業務デジタル化 6つのポイント



POINT 1

電子化

- Officeなどで作成した文書はもちろん、紙の書類でも簡単にPDF化できます。
- Acrobatで作成したPDFは電子文書フォーマットのISO国際規格に完全準拠しており、唯一Acrobat Readerでの永年閲覧が保証されています。
- AcrobatもAdobe Signもあらゆるデバイスで利用可能。データはクラウド上で同期されるため、いつでもどこからでもアクセスして作業を行えます。



POINT 2

確認

- 複数人がブラウザーでPDFを確認、コメントを書き込めます。日時や記入者の履歴も残せます。
- 比較機能が新旧の違いを確認できます。

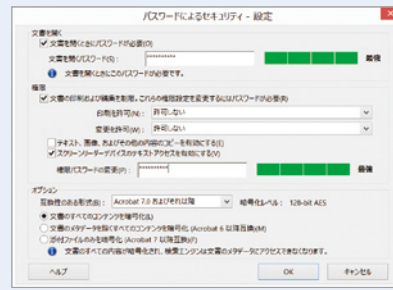


- 形式 380mm径3ウェイ・フロアスタ
- 使用ユニット LF 380mm径ビューパ
- HF 50mm径アクアプラス・コーティ
- UHF 19mm径ビューアチタン・コンプレ

POINT 3

最終化

- 最終的な文書にはパスワードによるセキュリティ（閲覧、印刷、コピー編集、編集制限等）で保護し、外部にも安全に配布できます。



POINT 4

保管

- Document Cloudクラウドストレージのほか、Dropbox、box、OneDrive、SharePoint、Googleドライブで文書を保管、共有できます*。

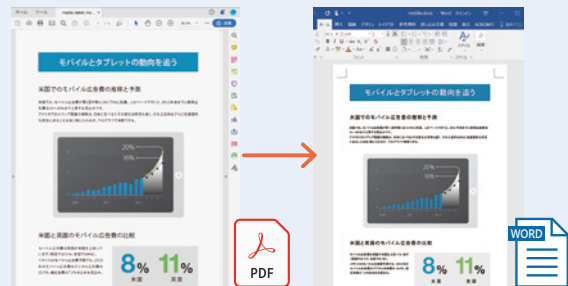


Acrobatのホーム画面から、各オンラインストレージのアカウントを追加できます
* 別途ライセンスのご契約が必要となります

POINT 5

再利用

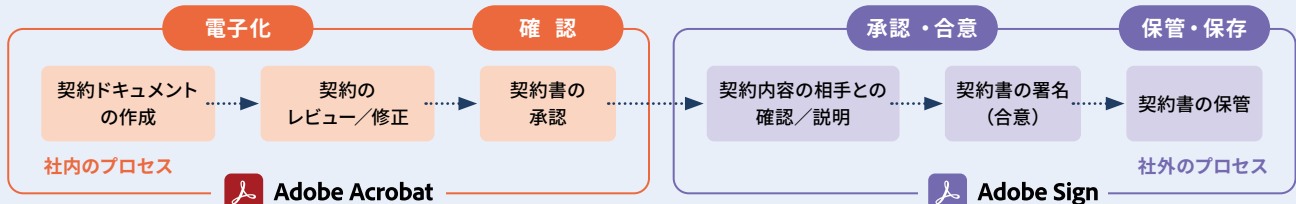
- PDFからWord、PowerPoint、Excel等へ書き出して再利用できます。
- 編集/訂正が必要な時に、元ファイルに戻ることなくPDF上で簡単に編集ができます。



POINT 6

承認・合意

- Adobe Sign機能で電子サイン/署名を文書に付与し、法的有効性を担保した契約締結が可能です。
- 社内承認であればスタンプ機能を使って稟議を回すことができます。



紙文書業務デジタル化について詳しくはこちら <https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/using/hayawakari-guide-01.html>



アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー www.adobe.com/jp/
このカタログに記載の情報は、2021年3月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2021 Adobe. All rights reserved. ASJST1751 3/21

お問い合わせはこちら

